

船舶事故等調査報告書

平成24年1月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第162号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年8月3日 17時35分ごろ	
発生場所	広島県呉市倉橋島北東方沖 呉市小アジワ島10m頂から真方位101° 180m付近 (概位 北緯34° 10.9' 東経132° 33.6')	
事故等調査の経過	平成23年9月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等</p> <p>乗組員等に関する情報</p> <p>死傷者等</p> <p>損傷</p>	
船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等	小型兼用船 ふじV、2.0トン HS3-38501（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	船内外機のドライブユニット破損及びプロペラ翼曲損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人2人を同乗させて船首約0.4m、船尾約0.8mの喫水で倉橋島北東岸の波多見港沖を北進中、平成23年8月3日17時35分ごろ、小アジワ島東方沖の浅所にドライブユニットが接触し、主機が停止した。</p> <p>船長は、小アジワ島東方沖に浅所が存在することを知っていたが、正確な位置及び水深を海図で調査していなかった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 大潮のほぼ低潮時、潮高 約50cm</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、倉橋島北東岸の波多見港沖を北進中、船長が、小アジワ島東方沖の浅所の正確な位置及び水深を海図で調査していなかったことから、大潮の低潮時には同浅所に底触するおそれがあることに気付かずに航行し、同浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、倉橋島北東岸の波多見港沖を北進中、船長が、小アジワ島東方沖の浅所の正確な位置及び水深を海図で調査していなかったため、大潮の低潮時には同浅所に底触するおそれがあることに気付かずに航行し、同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	